

## 2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月13日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東  
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 竹崎 周太郎 TEL 06-6343-2600  
 経営企画部ゼネラルマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	8,112	△7.3	△221	—	△223	—	△220	—
2023年2月期第1四半期	8,747	△2.6	436	△55.4	433	△56.1	169	△67.0

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 72百万円 (△60.9%) 2023年2月期第1四半期 185百万円 (△75.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	△12.99	—
2023年2月期第1四半期	9.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	42,692	29,409	65.9
2023年2月期	43,225	30,525	67.7

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 28,128百万円 2023年2月期 29,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2024年2月期	—				
2024年2月期（予想）		0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.7	4,130	2.8	4,110	2.5	2,350	4.1	138.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当連結グループの売上高は11月前後の七五三の時期に集中することから下半期に偏重しており、上半期の業績予測が極めて困難な状況にあります。したがって、第2四半期連結累計期間の業績予想を公表していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	17,185,650株	2023年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	201,706株	2023年2月期	201,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	16,983,944株	2023年2月期1Q	16,983,993株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、社会経済活動が正常化に向かう一方、世界情勢の混乱を背景とした原材料価格や資源価格の高騰による物価上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力である写真事業において、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しつつ、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,112百万円（前年同期比7.3%の減少）、各利益につきましては、売上高が前年を下回ったことに加え、現在、強力に推し進めている成人式撮影・振袖レンタルサービス（『ふりホ』）の衣装投資の増加に伴う減価償却費の増加や、原材料価格及び光熱費の上昇等によって売上原価が前年同期を上回り、営業損失は221百万円（前年同期は436百万円の営業利益）、経常損失は223百万円（前年同期は433百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は220百万円（前年同期は169百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (写真事業)

写真事業は、成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』において、各店舗による展示会の開催を増やし、ご予約の更なる獲得に注力するとともに、お節句（桃のお節句、端午のお節句）撮影、並びに、入園入学・卒園卒業撮影を推進いたしました。また、4月21日から「早撮り七五三キャンペーン」を開始し、七五三撮影件数の獲得に努めました。

国内子ども写真館の出店状況は、移転3店舗、退店3店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動を含む改装を13店舗実施いたしました。また、韓国の子会社における子ども写真館2店舗の退店を行いました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館455店舗（直営店舗446店・フランチャイズ店舗9店）となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は8,090百万円（前年同期比7.3%の減少）、セグメント損失は276百万円（前年同期は495百万円のセグメント利益）となりました。

#### (衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社京都豊匠、および、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、前第1四半期連結累計期間同様、当社が推し進めている『ふりホ』に関わる衣装・小物の仕入原価低減に注力するとともに、当社向け子ども用衣装の生産効率向上に努めました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は545百万円（前年同期比20.6%の減少）、セグメント利益は71百万円（前年同期比110.9%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ533百万円減少し42,692百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ660百万円減少し22,052百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産「その他」に含まれる投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比べ127百万円増加し20,640百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ582百万円増加し13,283百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ792百万円増加の7,789百万円となりました。

固定負債は、固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の減少等により、前連結会計年度末と比べ209百万円減少し5,493百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,116百万円減少し29,409百万円となりました。

これは主に、前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、2023年4月13日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,912,283	16,813,669
受取手形及び売掛金	1,061,833	1,217,291
棚卸資産	2,081,005	2,052,531
その他	1,672,326	1,986,249
貸倒引当金	△14,351	△17,421
流動資産合計	22,713,097	22,052,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,018,290	6,945,691
その他(純額)	6,608,423	6,458,812
有形固定資産合計	13,626,713	13,404,503
無形固定資産	1,047,986	971,994
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,186,775	3,199,023
その他	2,908,624	3,346,881
貸倒引当金	△257,362	△282,274
投資その他の資産合計	5,838,037	6,263,630
固定資産合計	20,512,737	20,640,127
資産合計	43,225,834	42,692,447
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	315,411	317,196
短期借入金	-	1,000,000
未払法人税等	501,716	106,442
賞与引当金	198,615	105,654
ポイント引当金	120,530	130,980
その他	5,861,130	6,129,398
流動負債合計	6,997,403	7,789,671
固定負債		
退職給付に係る負債	1,220,550	1,220,675
資産除去債務	1,922,036	1,919,926
その他	2,560,587	2,353,138
固定負債合計	5,703,174	5,493,740
負債合計	12,700,578	13,283,412

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	25,239,613	23,830,054
自己株式	△276,578	△276,578
株主資本合計	28,904,434	27,494,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,114	435,492
為替換算調整勘定	194,250	197,891
その他の包括利益累計額合計	339,364	633,384
非支配株主持分	1,281,457	1,280,776
純資産合計	30,525,256	29,409,035
負債純資産合計	43,225,834	42,692,447

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	8,747,528	8,112,503
売上原価	6,642,602	6,723,556
売上総利益	2,104,925	1,388,947
販売費及び一般管理費	1,668,467	1,610,829
営業利益又は営業損失(△)	436,458	△221,881
営業外収益		
受取利息	382	401
受取家賃	5,647	5,042
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	1,365	-
貯蔵品売却益	-	21,109
雑収入	9,040	5,917
営業外収益合計	16,435	32,470
営業外費用		
支払利息	5,997	5,717
為替差損	12,277	1,934
貸倒引当金繰入額	-	25,000
雑損失	694	1,077
営業外費用合計	18,968	33,729
経常利益又は経常損失(△)	433,925	△223,141
特別損失		
固定資産廃棄損	19,487	33,502
減損損失	54,063	19,180
その他	-	2,168
特別損失合計	73,551	54,851
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	360,373	△277,992
法人税、住民税及び事業税	141,594	69,389
法人税等調整額	39,675	△126,052
法人税等合計	181,270	△56,662
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,102	△221,329
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,652	△646
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	169,450	△220,683



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,102	△221,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,906	290,343
為替換算調整勘定	27,423	3,640
その他の包括利益合計	6,517	293,984
四半期包括利益	185,620	72,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,994	73,336
非支配株主に係る四半期包括利益	9,625	△681

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年3月1日 至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,723,117	24,410	8,747,528	-	8,747,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,721	662,624	670,345	△670,345	-
計	8,730,838	687,035	9,417,874	△670,345	8,747,528
セグメント利益	495,180	33,987	529,168	△92,709	436,458

(注) 1. セグメント利益の調整額△92,709千円には、固定資産の調整額等△35,324千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△57,384千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては54,063千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年3月1日 至2023年5月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,087,964	24,538	8,112,503	-	8,112,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,337	521,140	523,477	△523,477	-
計	8,090,301	545,678	8,635,980	△523,477	8,112,503
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△276,238	71,663	△204,575	△17,306	△221,881

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△17,306千円には、固定資産の調整額等42,570千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△59,877千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては19,180千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。